

..... ◎町民の皆さんに「予算の中身に何を思う?」「期待することは?」などを聞きました

町民インタビュー

上下水道の整備をしっかりとしてほしい

松前には山がないので津波が来たとき不安。地震対策に力を入れてほしい

浄水場や管路の整備をして、水道施設を充実させてほしいです。下水道の整備もしっかりしてほしい。松前町の発展には上下水道の整備が欠かせないと思います。

松前には山がないから、津波が来たとき心配です。エミフルと提携して、万が一のときは立体駐車場に避難できるようにしては?地震対策に力を入れてもらいたいです。



山田寛さん 城戸寛さん 大森芳久さん
Yamada Minoru Kido Minoru Omori Yoshihisa

町民インタビュー

引き続きまちをきれいにしてほしい

水が豊富で公園がきれいな松前町。整備された松前公園で、大勢の子どもたちが遊ぶ姿を見ると、心が和みます。指定管理者が導入され、民間の管理になっても、今まで同様に管理してもらいたいです。



豊田シヅコさん
Toyota Shizuko

..... ◎平成 25 年度予算案では...

健やかでやさしい松前町をつくる

高齢者支援の充実

介護保険制度と連携しながら、高齢者に対する各種在宅福祉サービスを充実・強化します。第5期松前町介護保険事業計画に基づく介護保険施設等の緊急整備の促進のため、民間事業者が行う体制整備を支援します。

障がい者支援

障がい者が快適に生活できるよう、地域福祉活動の推進や在宅福祉施策を充実させます。

子育て支援

「未熟児養育医療給付事業」を実施し、子育ての支援を充実させます。

健康づくりの推進

総合健診や予防接種事業を実施し、町民の健康増進に努めます。

- 高齢者在宅福祉サービス事業 1156 万円
- 介護基盤緊急整備等事業・介護基盤施設開設準備等事業 9982 万円
- 心身障がい者福祉事業 4 億 2665 万円
- 児童手当給付事業 5 億 230 万円
- 未熟児養育医療給付事業 201 万円
- 総合健診事業 4002 万円

安全・安心・快適な松前町をつくる

消防・防災の充実

これまで検討した災害対策強化策を速やかに具体化するため、所管にとらわれない予算編成で防災対策事業を行います。

上・下水道の整備

環境保全・公衆衛生の向上を図るため、浄化槽の設置を補助します。市街化区域内の水路は計画的な汚泥処理と清掃を行い、老朽化が著しい排水路は補修工事を行います。大雨時の市街地の浸水被害を軽減するため、排水施設を整備します。

公園・緑地・水辺の保全

公園・緑地などの整備や維持管理体制を充実させます。住民サービスの向上と経費の削減を図るため、松前公園に指定管理者を導入します。

- 南海トラフ沖地震対策事業 1815 万円
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業 2151 万円
- 浄化槽設置整備事業 3401 万円
- 町管理排水施設維持管理事業 1087 万円
- 松前公園管理事業（社会教育） 3435 万円
- 公園管理事業 2510 万円



平成25年度町政方針
水きらめき
笑顔あふれる
ライフタウンまよひきり
目指して

3月4日(月)に開会された松前町議会第1回定例会の冒頭、白石町長は、平成25年度の町政方針を述べました。
町政方針は、この1年間の町の進むべき指針を示すものです。
今月号は、25年度の町政方針と予算を、第4次松前町総合計画の6つの柱に沿って、町民の皆さんの声と共に紹介します。

◎皆さんに知ってほしいこと

▶町には、まちをよりよくするために目指すものがあります。(第4次松前町総合計画) ▶それを実現するために、平成25年度に取り組むこと、町の進むべき方向を決めています。(町政方針) ▶そのためのお金のやりくりも計画済みです。(当初予算) ▶では、もう決まっているのにどうしてお知らせするのでしょうか。▶例えば家庭で考えてみましょう。家族旅行のために節約することを、お母さんだけが計画して行動するよりも、お父さん子どもも理解して一緒に行動する方が、節約も上手くいくし、実現した旅行もずっと楽しいですね。▶つまり、町を目指すものも、町民みんなで共通認識を持って、一緒に行動する方が上手くいくのです。まちの主役は皆さんですから。皆さんの幸せと、松前町の将来のため、「みんなで一緒に」知って、行動しましょう。

町民インタビュー

子どもを中心に地域でさまざまなイベントができるように

地域によって、いろいろな行事をしているのがいいですね。子どもが減っているけれど、こうした地域の行事に出ると、子どもと触れ合うことができうれしいです。これからも、子どもを中心に地域でさまざまなイベントができるよう支援があればいいですね。
昔はみんなが隣近所で協力し合っていました。それが少なくなってさみしいです。みんな協力し合えるまちになってほしいです。



郷田治重さん
Goda Harushige

町民インタビュー

誰もが安心して利用できる道路に

夜間、人通りが少なく、街灯がない道路が多いことが気になります。
それから、狭い路地も多いので、万が一のときに消防車や救急車はどうするんだろうと思います。
誰もが安心して利用できる道路になればいいと思います。



宇都宮正信さん
Utsunomiya Masanobu

町民インタビュー

もっとPRして町を盛り上げてほしい

観光地やグルメなど、「まさきはこれ」とパッと出てくるものがないような気がします。もっとPRしたり、何かこれというものをつくってメディアにアピールするなどして、松前町を盛り上げてほしいです。



持田優介さん
Mochida Yusuke

町民インタビュー

国際交流ができる子ども向けのイベントを開催してほしい



田原恵理さん家族
Tahara Eri

公民館や児童館でのイベントによく参加しています。以前、外国人と交流するイベントに親子で参加して、文化の違いなど、とても刺激を受け、貴重な体験をすることができました。国際交流関係のイベントがあまりないように感じるので、外国人と交流したり、異国の文化を体験したりできる子ども向けのイベントをたくさん開催してほしいです。

みんなで力を出し合う松前町をつくる

コミュニティーの育成

地域の皆さんが利用する集会所や広場などのコミュニティー施設の整備費用を助成し、地域の生活福祉の維持向上を図ります。

協働のまちづくりの推進

社会福祉協議会内のボランティア団体に対し活動費を助成し、ボランティア団体の効果的な活動を推進します。



- ◎ コミュニティー施設整備事業 593 万円
- ◎ NPO・ボランティア団体活動推進事業 261 万円

飛躍を支える松前町の基盤をつくる

市街地の整備

敷地の寄付を受けて町が老朽放置建物を除去することで、住環境の改善を図ります。

住宅施策の推進

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断、設計と耐震改修の費用の一部を助成します。

道路・交通網の充実

町道筒井徳丸線から松前公園へのアクセスが容易にできる新しい幹線道路を整備するとともに、老朽化している町道と、地域から要望のあった道路の補修を計画的に実施し、道路環境の改善と交通安全を確保します。

情報化の推進

住民基本台帳システムと情報系端末の更新を行い、事務の効率化と経費の節減を図ります。

- ◎ 住環境改善事業 1266 万円
- ◎ 木造住宅耐震化促進事業 814 万円
- ◎ 町道等維持事業 947 万円
- ◎ 町道整備事業 1 億 10 万円
- ◎ 情報管理事業 (庁内OA化推進・インターネット基盤整備) 1818 万円

豊かでにぎわいのある松前町をつくる

農水産業の振興

農業従事者の労力の軽減や経費の削減を図るため、各種土地改良事業を実施し、農業経営の安定に向けた取り組みを支援します。

水産業の振興を図るため、漁業従事者相互の連帯感や意識の醸成を目的に実施する事業と、漁業者の省力化・利便性の向上を実現する事業に対して、補助を行います。

商工業の振興

大阪で開催予定の愛媛産業立地フェアに参加するなど、企業誘致活動を積極的に行います。生産者や関係団体と連携して地場産業の掘り起こしを推進し、「まさき」を全国にPRするためのイベントに参加するなど、まちの知名度アップに取り組めます。

- ◎ 水田農業経営確立対策事業 336 万円
- ◎ 土地改良事業 2257 万円
- ◎ 漁業振興育成対策事業 647 万円
- ◎ 商工総務管理事業 1700 万円
- ◎ 地場産業推進事業 577 万円
- ◎ 商工振興育成対策事業 787 万円

人と文化が輝く松前町をつくる

学校教育の充実

平成26年「教育の町」宣言50周年の節目に当たるため、町が今後目指すべき教育の姿と、それを実現するために取り組む施策を盛り込んだ「松前町教育基本計画」を策定します。引き続き学校施設の耐震対策を最優先で実施し、子どもたちの安全を確保します。

生涯学習の推進

松前公園同様、文化センターに指定管理者を導入します。

スポーツの振興

平成29年愛媛国体開催に向け、会場地として内定した競技の広報事業を実施し、競技場を整備します。

国際化・交流活動の推進

姉妹都市の北海道まつまえ町と、小学生らが互いに交流し、友好親善の拡大を図ります。

- ◎ 教育基本計画策定事業 39 万円
- ◎ 学校施設営繕事業 858 万円
- ◎ 文化センター維持管理事業 1 億 587 万円
- ◎ 国体施設整備事業 2736 万円
- ◎ 姉妹都市交流事業 259 万円

平成 25 年度予算規模 (単位:千円、%)

	25 年度	24 年度	増減率
一般会計	8,859,300	8,930,307	△ 0.8
国民健康保険特別会計	3,501,818	3,389,206	3.3
後期高齢者医療特別会計	381,529	377,933	1.0
介護保険特別会計	2,573,259	2,539,983	1.3
公共下水道事業特別会計	605,996	579,740	4.5
特別会計 合計	7,062,602	6,886,862	2.6
水道事業会計 (企業会計)	637,835	916,737	△ 30.4
総 額	16,559,737	16,733,906	△ 1.0

以上のよ うな内容で編成した平成 25 年度の一般会計当初予算は 88 億 5930 万円 (前年比 0.8% 減)

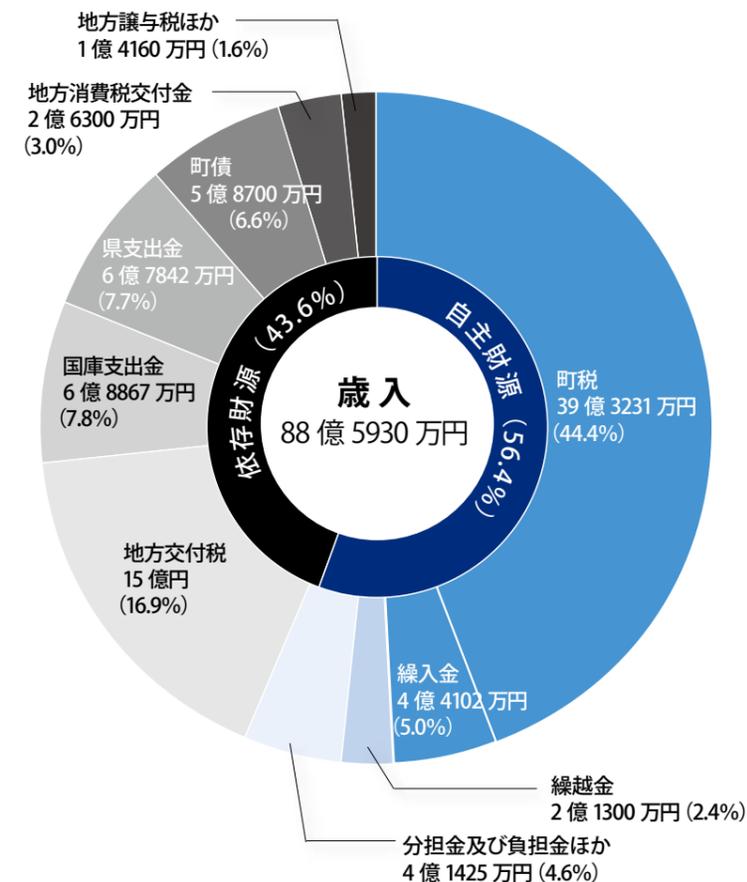
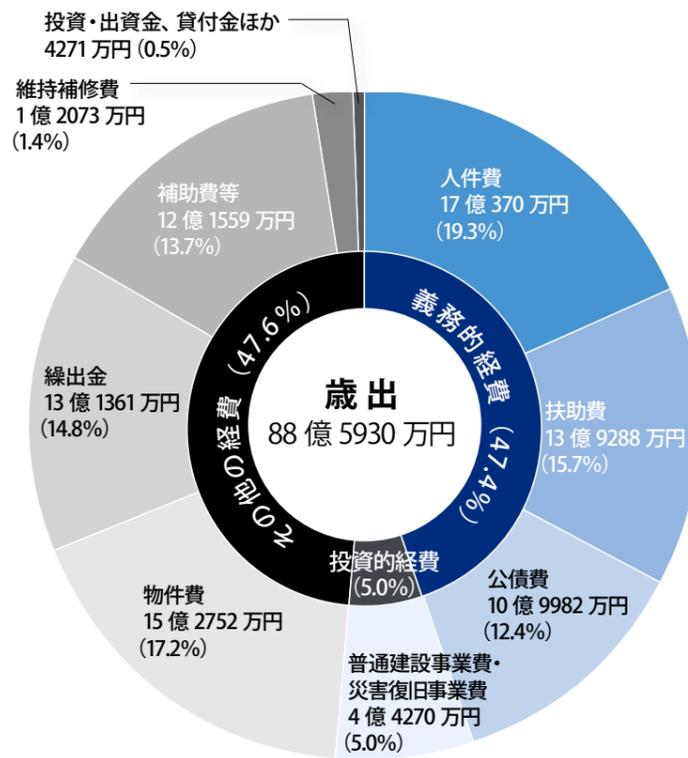
予算とは、1 年間に見込める収入 (歳入) と、何にいくら使うのか (歳出) をいいます。
町には全部で 3 つの財布があります (一般会計、特別会計、企業会計)。
その中の一つ、基本的な会計である「一般会計」について説明します。

使うお金 (歳出)

平成 25 年度歳出予算のうち、最優先で取り組む防災対策事業として、「災害時の応援協定」「備蓄品や救助用資機材の購入」「標高表示板や、災害時協力農地周知看板の設置」などに対して 2153 万円を計上しています。

投資的経費は、国体施設整備関係経費・介護基盤緊急整備等事業費補助金などを新たに計上したものの、土地改良事業の減、学校耐震化事業を前年度に繰り上げて計上したことなどに伴い、前年度より 1 億 3871 万円の減 (△ 23.9%) となっています。

義務的経費は、心身障害者福祉事業における医療給付費の伸びと共に、就労継続支援、特定障害者特別給付などにより、前年度より 1 億 8439 万円の増 (4.6%) となっています。



入るお金 (歳入)

歳入は、「自主財源」と「依存財源」の 2 つに分けられます。

「自主財源」は、町税をはじめ、町が自主的に収入できるお金です。「依存財源」は、国や県から交付されるお金や借金をいいます。

自主財源が多いほど町の運営は安定し、独自性を保つことができます。

町民税は、個人所得割分の減収、法人税割分の増収が見込まれ、固定資産税は、一般家屋の建築に伴う「家屋分」の増収、土地・償却資産の減収が見込まれているため、全体では町税総額はほとんど増減がない見込みです。

防災対策事業に対して、大規模地震災害対策基金から繰り入れたため、繰入金は増加しています。

使用料及び手数料、国庫支出金、町債等は減少しています。

※ 1 万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

歳出を 目的別で分けると

民生費
30 億 9213 万円
児童・老人福祉や障がい者福祉に使われる経費

総務費
11 億 7195 万円
総務管理、税の課税・収納、戸籍・住民基本台帳関係などの経費

公債費
10 億 9982 万円
町の借金の元金の返済に係る経費

衛生費
10 億 9705 万円
健康診断などの保健関係、ごみ収集などの環境保全のための経費

教育費
7 億 6675 万円
学校教育、生涯学習、文化振興などに使われる経費

土木費
7 億 865 万円
道路水路、公園整備などに使われる経費

消防費
4 億 4948 万円
伊予消防等事務組合への町の負担金や、災害対策に使われる経費

農林水産業費
2 億 5669 万円
農水産業の振興、土地改良事業などに使われる経費

議会費
1 億 2612 万円
議員の報酬など、議会の活動・運営のための経費

商工費
7013 万円
商工業の振興などに使われる経費

予備費ほか
2048 万円

用語解説

一般会計	町の運営の基本的な経費を一つにまとめた会計	県支出金	事業を行うための県からの負担金・補助金など
特別会計	一般会計と区別して経理する必要がある会計	町債	事業を行うために借りるお金
企業会計	民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計	人件費	職員の給与や議会議員の報酬など
町税	皆さんが納める税金や会社の法人町民税など	扶助費	法令などに基づいて被扶助者に支給される経費
繰入金	貯金である基金などから一般会計へ繰り入れるお金	公債費	事業を行うために借りたお金の償還金
国庫支出金	事業を行うための国からの負担金・補助金など	物件費	消耗品、臨時職員賃金や業務委託料など
		繰出金	一般会計から特別会計などへ繰り出すお金